

大腸癌研究会プロジェクト
『若年者大腸癌の全国データベース構築と臨床病理学的特徴および
治療効果の検討』

第3回会議 議事録

2025年1月30日

別府国際コンベンションセンター 第2会場（3F 国際会議室）およびオンライン

■出席者（敬称略）

- 委員長 日本医科大学消化器外科：山田岳史
- 事務局 がん研有明病院消化器化学療法科：篠崎英司、日本医科大学消化器肝臓内科：秋元直彦、日本医科大学消化器外科：横山康行
- 出席委員（50音順）：池松弘朗(東京大学医科学研究所)、石田秀行(埼玉医科大学総合医療センター)、石原聡一郎(東京大学医学部附属病院)、石丸啓(愛媛大学)、大内晶(愛知県がんセンター)、太田竜(日本医科大学武蔵小杉病院)、小林宏寿(帝京大学医学部附属溝口病院)、今野真己(聖マリアンナ医科大学)、齊藤修治(横浜新緑総合病院)、澤田亮一(東京慈恵会医科大学)、島田能史(新潟大学)、須藤剛(山形県立中央病院)、須並英二(杏林大学)、諏訪雄亮(横浜市立大学附属市民総合医療センター)、虫明寛行(済生会横浜市南部病院)、問山裕二(三重大学)、廣川高久(刈谷豊田総合病院)、廣純一郎(藤田医科大学)、深澤貴子(磐田市立総合病院)、藤吉健司(久留米大学)、松田尚久(東邦大学医療センター大森病院)、水島恒和(獨協医科大学)、水内祐介(九州大学)、三宅亨(滋賀医科大学)、山口達郎(都立駒込病院)、山田真善(国立がん研究センター中央病院)、山本聖一郎(東海大学)、渡邊 純(関西医科大学)
- オブザーバー：現地参加 28名+オンライン 6名

■会議内容

プロジェクト研究の現状に関して

山田委員長から

- ・プロジェクト研究の進捗状況を説明。
- ・主施設（日本医科大学）での倫理委員会で研究計画が承認された。現在、追加でご参加いただく御施設を追加した修正申請の審査結果待ち。
- ・CRFがコアメンバーの先生での議論を経て確定した。2月中に各御施設の研究責任者の先生方に送付予定。
- ・コアメンバーは、臨床病理、分子生物学、臨床腫瘍、内視鏡治療、外科治療の各分野の専門家からそれぞれ選任している。
- ・CRFによるデータ収集の期限は5月の連休明けを予定している。
- ・CRFは、欠損部分はやむないので、可能な範囲でご記入いただきたい。
- ・夏までにデータクリーニングを終わらせて、概略をまとめることを目標としたい。
- ・研究仮説は現時点で54題あり、お目通しください。
- ・日本医科大学本院および関連病院の合計3病院のDPCによるデータをまとめて発表した。約7%が若年発症大腸癌に該当した。他、DPCデータで利用可能範囲のデータを遡及的に解

析し、傾向をみた。地域差がある可能性、SSI が若年発症多い可能性が示唆されたが、今後検討が必要である。

- 追加でご参加いただける御施設に関しては、委員長の山田、もしくは事務局までご連絡をお願いします。

篠崎事務局長から

- CRF に関して、臨床腫瘍の化学療法の部分を強化した。
- がん研有明病院でのデータを用いた暫定的な解析では、若年者大腸癌は増加していないようだが、最近発表された Lancet GH の論文において、日本での若年発症癌は増加傾向であるデータが示されている。おそらくがん登録のデータを使用しているものとするが、今後、本研究での検討が必要である。

今後の予定に関して

- 2 月中に CRF を各御施設の研究責任者の先生方に送付予定。
- 各御施設で実施許可を申請いただく。
- 5 月の連休明けまでに CRF への情報入力をいただき、事務局へ返送いただく。
(それ以前でも早期であればありがたいです)
- 夏までをめどにデータクリーニング予定。
- 副次解析のアイデアを募集中です。

以上